

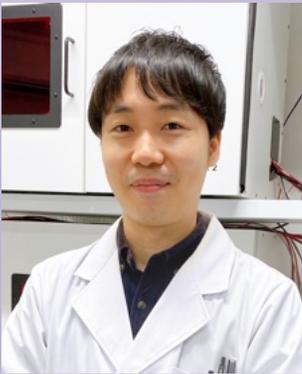
早稲田大学 人文研「行動・社会・文化に関する多角的アプローチ」主催

心理学セミナーシリーズ

2026 / 3 / 12 (木) 13:00 ~ 14:30

33号館 16階第10会議室 + オンライン開催 (zoom)

げっ歯類の頭部固定下行動課題と 神経イメージングを用いた報酬予測性 行動機能のメカニズム解明研究



山口 健治

京都大学大学院医学研究科
脳統合イメージング分野助教

生物の学習機能は経験を通じて行動を変化させる適応的な能力ですが、哺乳類における環境や文脈に応じた多種多様な学習機能の機序、とりわけ総司令部であると考えられる中枢神経のメカニズムに関しては、詳細が明らかになっていない部分が多く存在します。本セミナーでは、学習機能を精査するために学習心理学で古くから用いられてきた条件づけ課題を利用し、頭部固定下動物に報酬予測性行動を学習させ、遺伝子組み換えや薬理・光学技術で学習に関する神経活動変化を観察・操作することで、学習行動の詳細な神経メカニズムを調査する研究について紹介します。また、心理学出身の立場で医学部で研究する私の背景について、並行して行っているヒトを対象とした体性感覚に関わる研究も交え、簡単に紹介します。

▼参加登録▼

終了後には懇親会も予定していますので、お気軽にご参加ください。
zoom 聴講を希望される方は、事前に右の QR コードから参加登録をお願いします。

後日、参加用リンクをお送りします。

問い合わせ先：神前 裕
yutaka.kosaki@waseda.jp

